



プラスチック中のスズ含有量を分析するための標準試料 (蛍光X線分析用)

オリジナル標準試料 新シリーズ販売のお知らせ

プラスチック中に含まれる各種成分のスクリーニング分析には、蛍光X線分析装置が広く用いられます。蛍光X線分析には、特別な前処理が不要で、手軽にかつ迅速に簡易定量を行うことができるという利点があります。

これまで、プラスチック中のスズ含有量を分析する際に必要な標準試料は市販されておりませんでした。そこで、当社は、プラスチック中のスズ含有量を規定した標準試料を新たに開発いたしました。

商品の特徴

- 蛍光X線分析法によるプラスチック中のスズ含有量を定量することが可能になります。
- 蛍光X線分析装置のメーカーを問わずにお使いいただけます。
(※お使いの装置・仕様によっては、上手く測定できない可能性もございます。)
- スズ濃度 1000ppmまでの簡易定量が可能です。



図1 プラスチック中のスズ含有量を分析するための標準試料

蛍光X線分析用標準試料

- 試料No. JSM P712-1
- 試料形状：40mmφ、4水準/セット
- 材質：ポリエチレン
- 含有量：

試料No.	Sn (%)	
JSM P712-1	a	<0.001
	b	0.019
	c	0.060
	d	0.101

蛍光X線分析による測定例

- 使用装置：エネルギー分散型蛍光X線分析装置

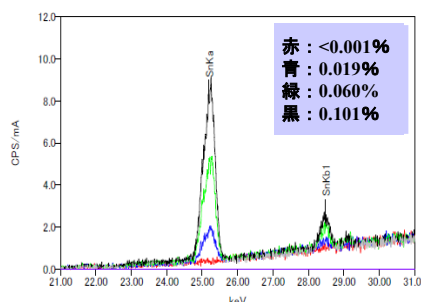


図2 測定スペクトル

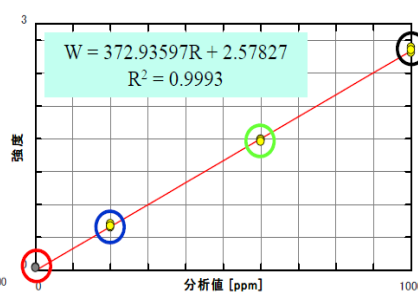


図3 検量線

分析結果の信頼性確保

標準試料のスズ含有量の分析には、精密分析法である「酸分解-原子吸光分析法(AAS)」を採用しております。

各種の素材や組成の標準試料を広く取り揃えております。お気軽にご相談下さい。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2015 - 2022 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。